

## 里親フォーラム・パネル展に係る報告書

特定非営利活動法人子どもリエゾンえひめ

### 1. 実践内容

(1) アタッチメント形成が必要な乳幼児期に里親委託が必要なことのほか、里親に関する新しい取り組みや各方面での最新情報等を講演いただき、パネルディスカッションではその情報を愛媛県にどう取り入れて里親支援につなげるか考えを深めるものとする。また、パネル展示等により里親制度についてわかりやすく説明を行い、広報啓発を行う。

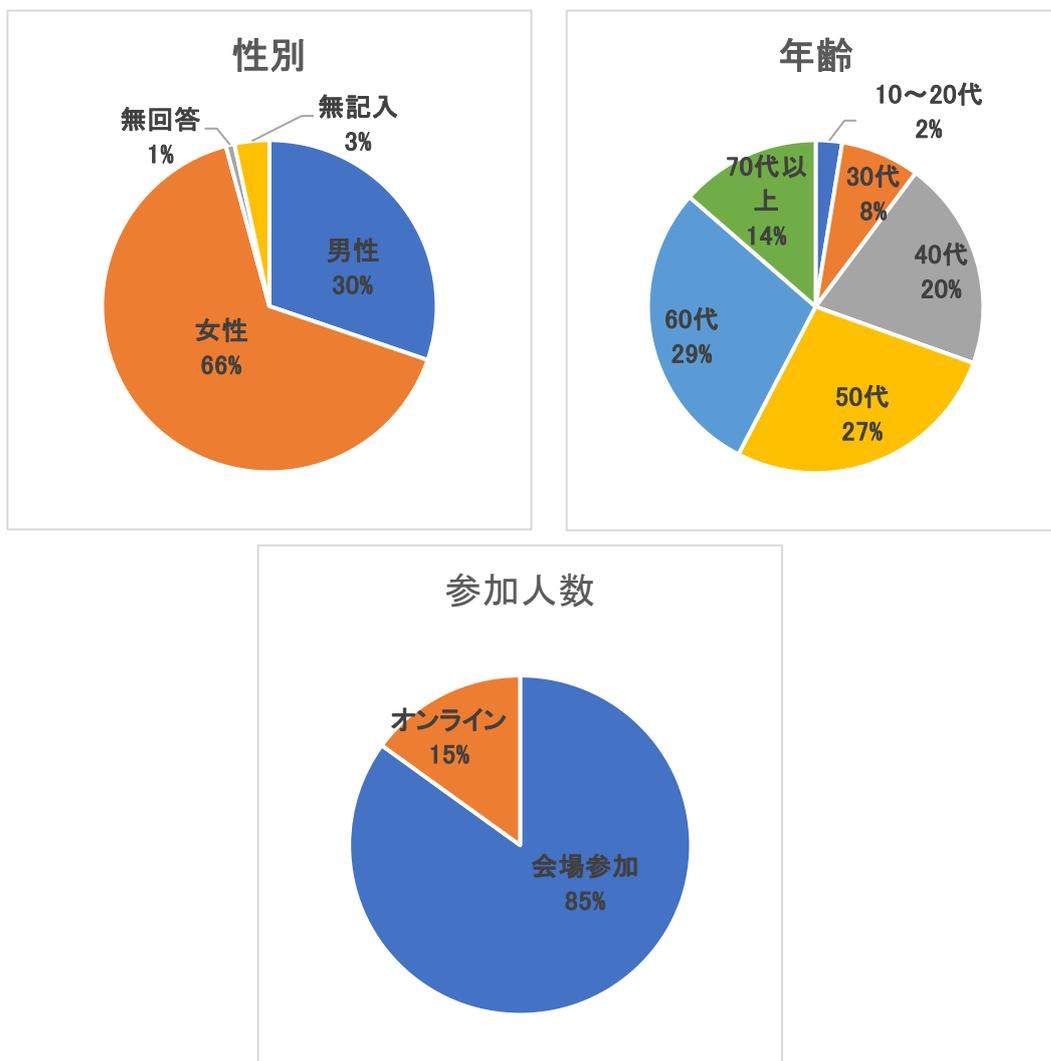
(2) 開催日時: 2023年9月30日(土) 13時30分～16時

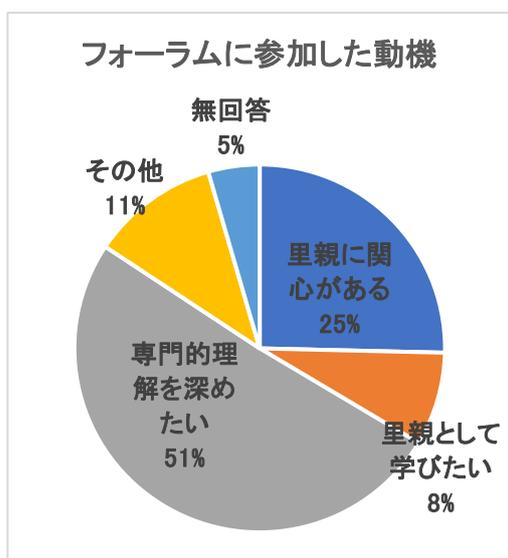
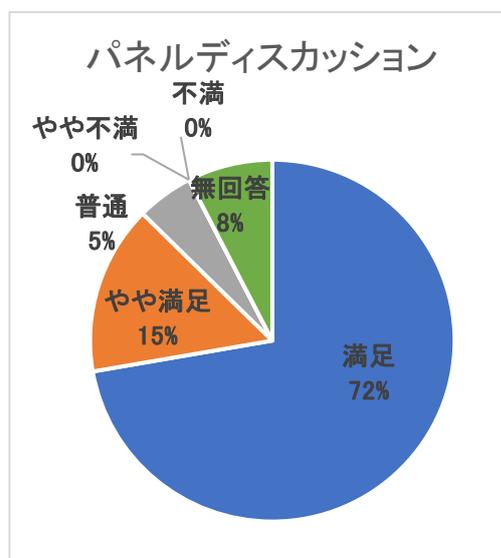
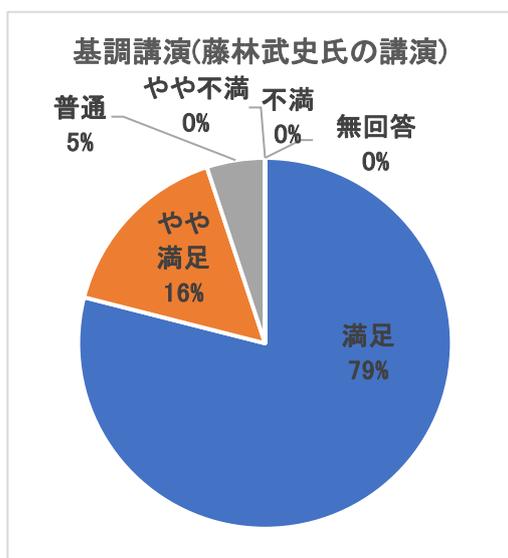
会場: 松山市医師会館 3階 いきいきホール(松山市藤原町2丁目4-70)

オンライン(zoom)

参加者: 180名(一般、里親、児童福祉・地域福祉関係者等)

### 2. 評価(アンケート結果)





(その他を選択された方の回答)

- ・現状について知りたいと思ったから
- ・小さなご協力できることがあればと参加させて頂きました
- ・活動を支援したい
- ・一端でも学ばせていただきたく参加しました
- ・里親について知らないことが多いので、知るきっかけにしたかったから
- ・自分にできる里親支援を見つけたい
- ・退職後、子供たちに何かできることはないかと思案中

(参加者の感想)

- ・初めて知った世界でした。現在、虐待で亡くなる子が毎日のように報道されています。「何かできることは？」という思いで参加いたしました。
- ・今の里親の問題点、現状をよく学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・里親養育という言葉の具体的なお話を聞くことができました。とても身近に感じ、たくさんのご苦勞を聞かせて頂き、応援をさせて頂ければと思いました。
- ・実親に育てられない事情のある子どもの支援の必要性がよくわかった。里親支援の大切さがわかった。とても内容の濃いディスカッションでした。
- ・里親制度について本当によく理解できました。
- ・福岡での里親への支援や、里親になるためのプログラムが松山でもあると良いと思います。いつか里親になりたいと思っているので、とても参考になった。
- ・県・児相・フォスティング機関それぞれの協力・役割分担が必要で、子どもたちのた

めに検討してほしい。里親と実親との協力、実親の支援もうまくいけばよいと思う。

- ・最後の西崎先生のことばに胸が熱くなりました。
- ・現状と世界の状況を分析し、改革なされた藤林先生のお話を聞くことができてよかったです。
- ・このようなフォーラムに参加することが初めてでしたので貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございます。
- ・あっという間の 2 時間半でした。子どもを取り巻く“待ったなし”の状況…大変勉強になりました。

(振り返り)

- ・基調講演の「満足」「やや満足」の項目が合わせて 95%と大変好評だった。パネルディスカッションも 87%ととても好評だった。
- ・ラジオ等で積極的に呼びかけ、里親や子どもリエゾンえひめの活動に関心のある方の参加が増加した。
- ・親子で視聴できるおやこルームを設置したことで、里親の参加も増加した。
- ・これまでの活動についてパネルにまとめ、多くの方に見ていただくことができた。

### 3. 課題

- ・集客にまだ課題があると感じた。
- ・ハイブリッドでの開催に関して人材、機材の拡充が必要。
- ・おやこルームでは子どもの動向も見ながらになるため、集中して話を聞きづらいという感想があった。

### 4. 今後の対応

- ・集客について、積極的な呼びかけ及び周知の実施。HP や SNS の活用。
- ・チラシ等の配布先検討、関係機関へのアプローチ。
- ・保育士等の協力を得て託児室の設置を検討する。

以上

作成日: 令和 5 年 10 月 10 日